

衆議院財務金融委員会ニュース

【第204回国会】令和3年2月22日（月）、第5回の委員会が開かれました。

1 財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行の特例に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第4号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）SMB C日興証券株式会社金融経済調査部部長金融財政アナリスト 末澤豪謙君
明治大学商学部教授 水野勝之君
群馬大学名誉教授 山田博文君

（質疑者）今枝宗一郎君（自民）、太田昌孝君（公明）、末松義規君（立民）、清水忠史君（共産）、青山雅幸君（維新）、井上一徳君（国民）

（質疑者及び主な質疑事項）

今枝宗一郎君（自民）

- （1） オンラインにおいて参考人が意見を開陳することについての各参考人の所見
- （2） 新型コロナウイルス感染症による影響への対応
 - ア 3次にわたる補正予算約73兆円という規模についての末澤参考人の評価
 - イ 経済対策に対する末澤参考人の評価
- （3） 財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行の特例に関する法律の一部を改正する法律案（特例公債法改正案）
 - ア 複数年度にわたる特例公債の発行を認めることにより財政規律が緩む可能性に関する末澤参考人の見解
 - イ 第4条「国及び地方公共団体のプライマリーバランスの黒字化に向けて」という文言を「財政の健全化に向けて」という文言に変更することによる財政再建の工程への影響についての各参考人の見解
- （4） 脱炭素社会の実現を目指す2050年のカーボンニュートラルについて、イノベーションにより達成しようとする政策についての水野参考人の所見

太田昌孝君（公明）

- （1） 今後の世界経済及び日本経済の見通し並びに我が国が抱える巨額の国債の安定的な償還やそのリスクに関する各参考人の所見
- （2） 財政健全化に向けた今後の歳出歳入改革についての具体的な取組に関する末澤参考人の所見

末松義規君（立民）

- （1） 特例公債法改正案において5年間の特例公債の発行を可能とすることについての各参考人の賛否
- （2） 我が国において債務上限を設定することの可否についての末澤参考人の所見
- （3） 経済を新たに発展させるイノベーションを活発化させる仕組みに関する水野参考人の所見
- （4） 富裕層に対して資産税を課す場合の根拠についての山田参考人の見解

清水忠史君（共産）

- （1） 複数年度にわたり特例公債の発行を自動的に認めることで、危惧される問題及び考えられる国民生活への影響に関する山田参考人の所見

- (2) 富裕層に税負担を求めるとともに、低所得世帯及び小規模の飲食店等への負担軽減策としての消費税率引下げの必要性に関する山田参考人の所見
- (3) 欧州における付加価値税率引下げの動向及び消費税率引下げを日本で行った場合に考え得るメリットについての末澤参考人の所見
- (4) 消費税率引下げが低所得者及び飲食店にもたらす効果についての山田参考人の所見
- (5) 株価の高騰に実体経済が伴わないという状況が生じた原因についての水野参考人の所見
- (6) 日本銀行の金融政策が財政ファイナンスではないとする日銀総裁や政府の説明に対する見解及び財政ファイナンスがもたらすリスクについての各参考人の所見

青山雅幸君（維新）

- (1) 米国における政府債務上限を設定する規定の存在が米国経済に負の影響を与えているか否かについての末澤参考人の所見
- (2) 米国におけるペイ・アズ・ユー・ゴー原則等のような財政規律を確保する規定の必要性についての末澤参考人の所見
- (3) 日本が巨額の国債を発行することに対するマーケットからの懸念についての末澤参考人の所見
- (4) 赤字国債依存が国民の勤労意欲の喪失を招いているという懸念に対する水野参考人の所見
- (5) 財政再建に当たっての歳入面での取組の方法についての山田参考人の所見

井上一徳君（国民）

- (1) 我が国の実質賃金がほとんど上昇していない理由についての各参考人の所見
- (2) ベーシックインカムによる最低所得の保障についての各参考人の所見